

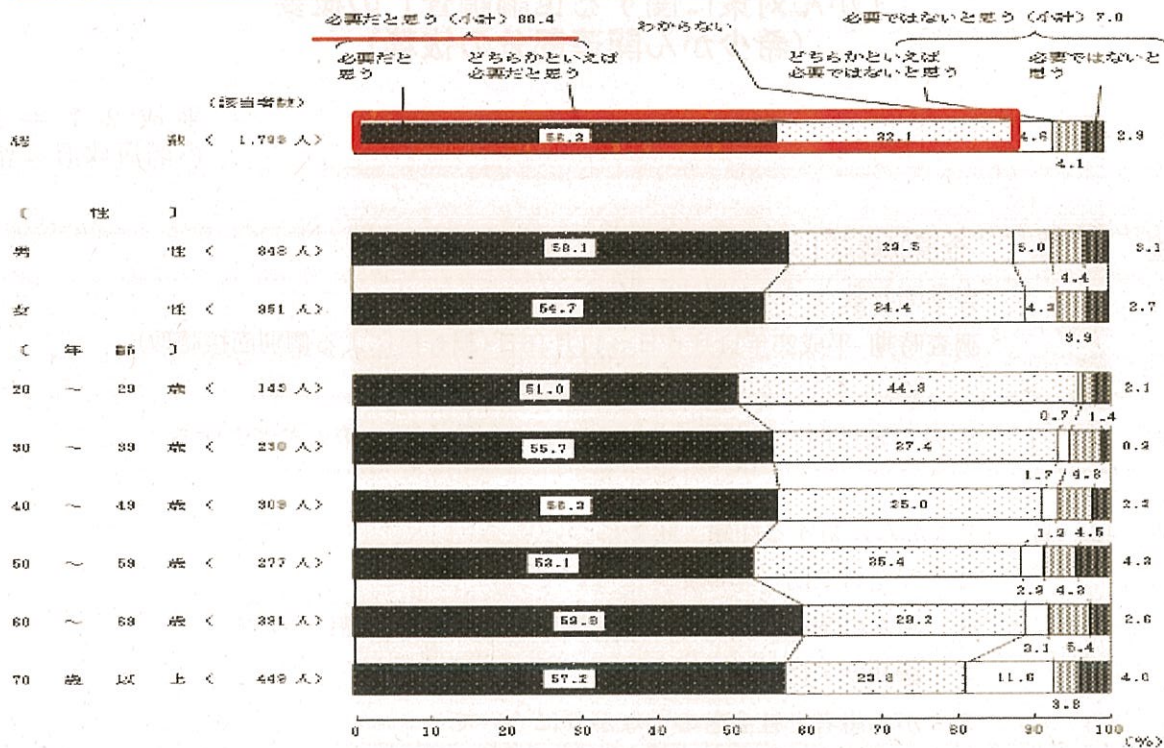
「がん対策に関する世論調査」の概要 (希少がん関連部分の抜粋)

平成 27 年 1 月
内閣府政府広報室

- 調 査 対 象 全国20歳以上の日本国籍を有する者 3,000人
有効回収数 1,799人 (回収率60.0%)
調査時期 平成26年11月6日～11月16日(調査員による個別面接聴取)
- 調 査 目 的 がん対策に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。
- 調 査 項 目
- 1 がんに対する印象・認識について
 - 2 がんの予防・早期発見について
 - 3 がんの治療法及び病院等に関する情報源や認識について
 - 4 緩和ケアについて
 - 5 がん患者と社会とのつながりについて
 - 6 がん登録について
 - 7 がんの臨床試験について
 - 8 がん対策に関する政府への要望について
- 調 査 実 績 「がん対策に関する世論調査」
- | | | |
|-------------|------------------------|----------------|
| 平成 25 年 1 月 | (標本数 全国 20 歳以上 3,000 人 | 有効回収数 1,883 人) |
| 平成 21 年 9 月 | (標本数 全国 20 歳以上 3,000 人 | 有効回収数 1,935 人) |
| 平成 19 年 9 月 | (標本数 全国 20 歳以上 3,000 人 | 有効回収数 1,767 人) |

希少がん医療の集約化に対する意識 (世論調査)

約9割の方が患者を集める仕組みが必要だと思うと回答

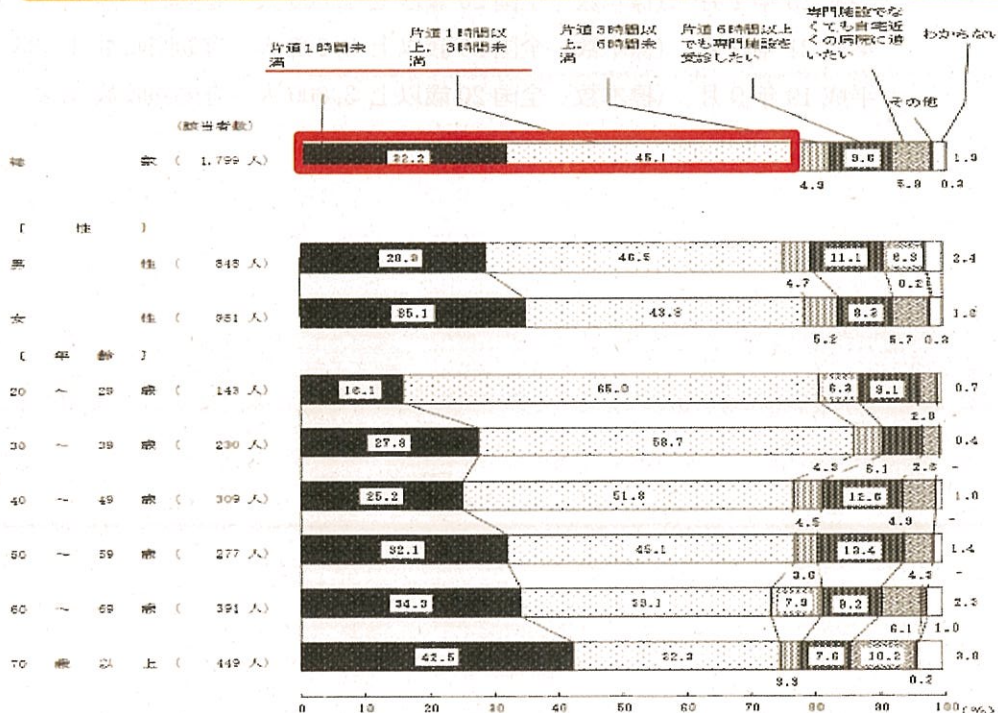


(希少がんの診療においては、専門的な病院を指定して、患者を集める仕組みが必要だと思うかと質問)

出典：内閣府 がん対策に関する世論調査 (平成26年11月調査)

希少がん診療施設までの通院時間 (世論調査)

約8割の方が、通院時間は片道3時間未満を希望



(希少がんと診断され、自宅から離れた場所にしか専門的な病院がない、と医師から伝えられたとして、その病院へ行くための時間が最大でどのくらいまでなら、その病院を受診しようと思うかと質問)

出典：内閣府 がん対策に関する世論調査 (平成26年11月調査)